

2017年度開講予定
人文情報学演習Ⅲ－8
(メディア表現コース)
について

担当教員: 武田和哉

2016/10/12

人文情報学科3回生ゼミ説明会

昨年までのコース構成

情報デザイン

情報文化

メディアクリエイター

デジタルライブラリー



現在のコース構成

情報マネジメント

(情報デザイン＋情報文化)

メディア表現

(メディアクリエイター＋デジタルライブラリー)

デジタルライブラリーの学び

高度情報化の進んだ現代社会では我々が平素作っている文書などを電子データとして保存するだけでなく、現物の文書として保管することも重要です。中には重要なもの、秘密の内容等が含まれており、これらの整理・保管には各種の工夫・注意が必要です。

既に日本では図書館学では多くの
ノウハウが蓄積されており、その技
術や方法論を学ぶことは有益です。

さらに、情報リテラシーや著作権な
どの社会的諸問題や、電子データ
の加工・保存技術などを併せて学
び、総合的な知識・技能を獲得し、
実務遂行につながる広い視野と能
力を形成していきます。

具体的には、図書館だけでなく、出版・印刷・本流通業界などの知識を養い、社会の各組織において必要とされている各種の情報・データ等の取扱や管理を学び、「デジタルライブラリアン」の養成を目指します。

なお、当ゼミ受講だけでは図書館司書課程を修了することはできません。『履修要項』を確認下さい。

武田ゼミのテーマ

「書籍の製作」

製作活動を通じ、文章表現能力、各地への取材能力、編集遂行能力および印刷物の製作知識などの修得をめざします。

三回生時のゼミの進め方

三回生の段階では、各自がテーマ
を選び、その内容に沿って「ガイド
ブック」を編集します。写真を加工
したり、地図や図版を作成したり、
紹介したい内容をよりよく伝えるた
めの表現物づくりをめざします。

四回生時のゼミの進め方

四回生では、三回生の際に各自が設定したテーマ内容に即して、卒業論文をまとめます。

その際に、三回生で学んだ編集能力を使って、卒論を既存の書式のほかに、「電子書籍（データ）」として仕上げることをめざします。

書籍等の編集活動を通じて

書籍は誰かに読まれることが前提



- ・読み手が期待することを探る視点
- ・自分が能動的に活動し見聞・調査
- ・対外交渉や調整等のマネジメント
- ・成果物をバランスよくまとめる感覚

受講生に求める点

大前提

- ① 本（≠マンガ）が好き・読書の習慣
- ② 将来の目標を持っている。
- ③ 他者と冷静な意見交換ができる。

+

- ・ 文章を書くことが苦ではない
 - ・ 知的な好奇心がある。

このゼミでは、原則として毎回出席することが条件です。

読書習慣や知的好奇心を持ち、自己意見が表明できる学生の受講を期待します。

応募要領

他のゼミと同様に、基本的な流れは、

- ① まず、メールで応募の申し込み
- ② 担当教員より課題内容の指示
- ③ 課題をメールで提出
- ④ 課題をクリアした者は面接の予約
- ⑤ 面接

の順です。

応募申し込みの際しての注意

まずはメールで、応募の申込表明。

武田メールアドレス (takedak@res.otani.ac.jp)

★学科オリジナルサイトにも掲示してあるので、
参照・確認して下さい。

メールでの連絡の際には、必ず

大谷大学のアカウントから送ること。

携帯やフリーメールアドレス等から

のメールは受け付けません。

サブゼミについて

他のゼミ同様に、実施する予定です。

原則としてこちらへの出席も求めます。

サブゼミの計画は受講生とも相談して決めたいと思いますが、今後社会人となっていく受講生にとって役立つ教養や知識を深められるよう、問題集を解いたりする勉強会や、見学会なども企画したいと考えています。



就職活動には直結しないので注意！